2024年 12月 24日［附属病院第4673号］

検査部通信

*Candida auris*について
細菌検査室

企画：
中央臨床検査部

NO.7

Candida auris（カンジダ・アウリス）

海外では多剤耐性によるアウトブレイク事例が多数報告され、最近注目されるようになった酵母様真菌です。

*C. auris*は他のカンジダ属菌種と比較し、抗真菌薬に対する耐性率が非常に高いことが報告されています。また、環境表面で長期間生存することが特徴で、クロルヘキシジングルコン酸塩、第四級アンモニウム塩などの低水準消毒薬については、効果は限定的であるとの報告があります。人の手を介したアウトブレークのリスクが高いことにも注意が必要です。

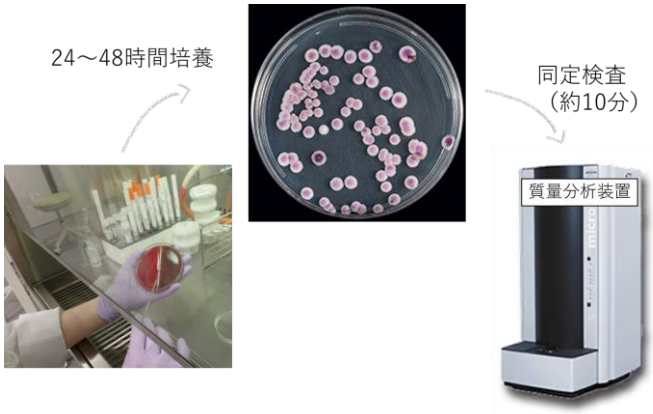
国内での感染症例

日本国内では2009年に世界で初めて非侵襲性（慢性中耳炎患者からの耳漏）の*C. auris*が国内で報告され、2020年に侵襲性感染症により死亡した症例が2023年に論文報告されています。耳周囲の感染症に特に注意が必要です。

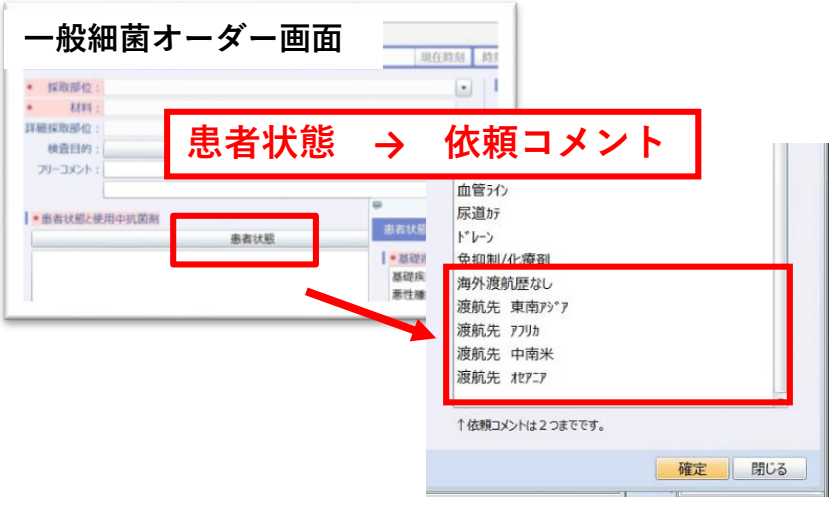
海外渡航歴に注意

*C. auris*による感染症は海外渡航歴のある患者（特に海外での入院歴あり）はリスクが高くなります。情報が得られた場合、一般培養検査オーダの依頼コメントで海外渡航歴の選択をお願いいたします。

*C. auris*は院内で菌種同定ができます！



注）菌株により質量分析同定の誤同定の報告があり、形態学的特徴と乖離する場合など外部機関へより詳細な同定検査を依頼する場合もあります。



Point

他にも、カルバペネマーゼ産生腸内細菌目細菌や輸入真菌症の検出は海外渡航歴に関する情報がきっかけとなることがあります。

問い合わせ先；
細菌検査室（内線3345）